

岡山県金融経済月報

1. 概況

県内景気は、新型コロナウイルス感染症の影響などから、一段と弱い動きとなっている。

最終需要をみると、個人消費は、新型コロナウイルス感染症の影響などから、一段と弱い動きとなっている。設備投資は、幾分減少しているが、高水準を維持している。住宅投資は、横ばい圏内の動きとなっている。公共投資は、高水準で推移している。輸出は、減少している。

こうしたもとで、県内主要製造業の生産は、減少している。

雇用・所得環境をみると、労働需給は引き締まった状態が続いているが、雇用者所得は、新型コロナウイルス感染症による下押し圧力が強まっている。

2. 実体経済

(1) 個人消費

個人消費は、新型コロナウイルス感染症の影響などから、一段と弱い動きとなっている。

百貨店・スーパー売上高は、一段と弱い動きとなっている。乗用車販売は、弱い動きとなっている。家電販売は、弱い動きとなっている。この間、旅行取扱高は、前年を大きく下回った。主要観光地への入り込みは、前年を大きく下回った。

(2) 設備投資

県内企業の設備投資は、幾分減少しているが、高水準を維持している。

20/3月短観調査における設備投資額は、19年度は、製造業が増加する一方、非製造業が減少することから、全体では減少計画となっている。20年度は、製造業、非製造業ともに減少計画となっている。

この間、着工建築物床面積（非居住用<1月～3月>）は、前年を下回った。

(3) 住宅投資

住宅投資は、横ばい圏内の動きとなっている。

3月の県内新設住宅着工戸数をみると、持家系、貸家系ともに前年を下回った。

(4) 公共投資

公共投資は、高水準で推移している。

発注の動きを示す県内公共工事保証請負額をみると、3月は、「市町村」を中心に前年を上回った。

(5) 輸 出

輸出は、減少している。

3月の県内輸出（通関実績）をみると、鉄鋼や自動車を中心に前年を上回った。

(6) 生 産

県内主要製造業の生産は、減少している。

2月の県内鉱工業生産指数（直近計数）の季調済前月比は、2か月連続で低下した。

主 要 製 造 業 の 生 産 動 向

業 種	足 も と の 動 向
自 動 車	減少している。
鉄 鋼	減少している。
化 学	生産水準が低下している。
石油・石炭	弱めの動きとなっている。
造 船	高操業となっている。
織 維	弱めの動きとなっている。
電気機械	持ち直しつつある。
窯業・土石	弱めの動きとなっている。
農 機 具	横ばい圏内の動きとなっている。
工作機械	減少している。

(7) 雇用・所得

雇用・所得環境をみると、労働需給は引き締まった状態が続いているが、雇用者所得は、新型コロナウイルス感染症による下押し圧力が強まっている。

労働需給面をみると、有効求人倍率は、高水準で推移している。2月の所定外労働時間は、前年を下回った。

雇用面をみると、2月の常用労働者数は、前年を下回った。3月の解雇者数は前年を上回ったが、雇用保険受給者数は、前年を下回った。

賃金面をみると、2月の一人当たり現金給与総額は、前年を上回った。

(8) 物 価

3月の岡山市消費者物価指数（2015年基準、生鮮食品を除くベース）は、生鮮食品を除く食料や交通・通信を中心に前年を上回った。

(9) 企業倒産

3月の県内企業倒産（東京商工リサーチ調べ、負債総額10百万円以上）をみると、倒産件数、負債総額ともに前年を上回った。

3. 金 融

(1) 実質預金

2月の県内実質預金をみると、全体では前年を上回った。

(2) 貸 出

2月の県内貸出をみると、全体では前年を上回った。

(3) 貸出約定平均金利

3月の新規貸出約定平均金利（総合ベース）、ストック金利(同)は、ともに前月比低下した。

以 上

内容についてのご照会は下記までお願いします。

〒 700-8707 岡山市北区丸の内1-6-1 日本銀行岡山支店 総務課

TEL 086-227-5111 (代表)

FAX 086-227-6350

ホームページアドレス <https://www3.boj.or.jp/okayama/>